

二法なり。三とは三千塵点劫なり。諸経は或は釈尊の因位を明かすこと、或は三祇、或は動喻塵劫、或は無量劫なり。梵王の云く、此の土には廿九劫より已来知行の主なり。第六天・帝釈・四天王等も以て是の如し。釈尊と梵王等と始には知行の先後之を諍論す。爾りと雖も一指を挙げて之を降伏してより已来、梵天頭を傾け魔王 掌を合わせ、三界の衆生をして釈尊に帰伏せしむる是なり。又諸仏の因位と釈尊の因位と之を糺明するに、諸仏の因位は或は三祇或は五劫等なり。釈尊の因位は既に三千塵点劫より已来、娑婆世界の一切衆生の結縁の居士なり。此の世界の六道の一切衆生は他土の他の菩薩に有縁の者一人も之無し。法花経に云く、「爾時聞法者 各在諸仏所」等云云。天台云く、「西方は仏別に縁異なる、故に子父の義成ぜず」等云云。妙楽云く、「弥陀・釈迦二仏既に殊なる。○況や宿昔の縁別にして化道同じからざるをや。結縁は生の如く成熟は養の如し。生養縁異なるれば父子成ぜず」等云云。当世日本国の一切衆生の弥陀の来迎を待つは、譬えは牛の子に馬の乳を含め、瓦の鏡に天の月を浮ぶるが如し。又果位を以て之を論ずれば、諸仏如来は或は十劫・百劫・千劫已来の過去の仏なり。教主釈尊は既に五百塵点劫より已来妙覺果満の仏なり。大日如来・阿弥陀如来・薬師如来等の尽十方の諸仏は、我等が本師教主釈尊の所従等なり。天月万浮是なり。花嚴経の十方台上的の毘盧遮那、大日経・金剛頂経の兩界の大日如来は、宝塔品の多宝如来の左右の脇なり。例せば世の王の兩臣の如し。此の多宝仏も寿量品の教主釈尊の所従なり。此の土の我等衆生は五百塵点劫より已来教主釈尊の愛子なり。不孝の失に依りて今に覺知せずと雖も、他方の衆生には似るべからず。有縁の仏と結縁の衆生とは、譬えは天月の清水に浮ぶが